

Q&A

結節集簇様の形態を呈する直腸病変

【問題】

症例：40歳代，女性。

主訴：便潜血陽性。

現病歴：検診で便潜血陽性を指摘されたため近医を受診。大腸内視鏡検査が施行され，直腸に隆起性病変を指摘されたため当科を紹介受診した。

既往歴：特記事項なし。

家族歴：特記事項なし。

生活歴：喫煙なし，機会飲酒，排便時いきみの習慣あり。

現症：特記事項なし。

血液検査：WBC 4290/ μ l，RBC 414万/ μ l，Hb 12.9g/dl，Plt 24.3万/ μ l，TP 6.5g/dl，Alb 3.9g/dl，

AST 21IU/l，ALT 13IU/l，LDH 232IU/l，ALP 133IU/l，T-bil 1.2mg/dl，BUN 11mg/dl，Cr 0.76mg/dl，CRP 0.01mg/dl，CEA 1.1ng/ml，CA19-9 6.1U/ml。

直腸 Rb の大腸内視鏡検査画像を示す (Figure 1)。

1. 最も考えられる診断は何か？
2. 診断確定に有用な病理組織学的所見は何か？

解答は (343p) に掲載

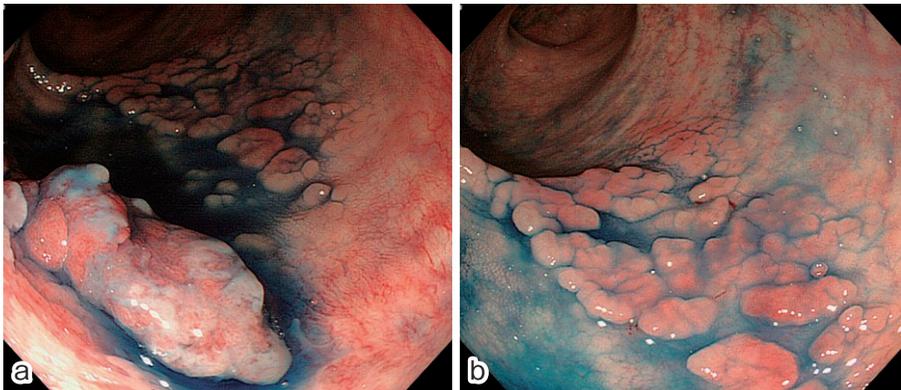


Figure 1. a, b：大腸内視鏡検査，インジゴカルミン散布像。